

第8章

給水装置工事申込書（設計図） 作成要項

第 8 章 給水装置工事申込書（設計図）作成要項

1. 設計図の目的	1
2. 平面図，立面図の書き方	1
2. 1 寸法，単位	1
2. 2 線と文字	2
2. 3 作図用紙	2
3. 材料明記について	2
4. 集合住宅（アパート）の設計図作成	2
4. 1 既設水道がある所にアパートを建てる場合	2
5. 給水装置設計図標示記号	4
6. 工事場所位置図の書き方	6
7. 設計書袋とじ作成	7
8. 給水装置工事の種類	8

第 8 章 給水装置工事申込書（設計図）作成要項

1. 設計図の目的

給水装置の設計図を作成する主任技術者は、その設計図を基に、工事従事者等へ施工内容を説明指示してその意図するところを完全に伝えなければならない。

そのためには定められた線や符号を用いて、定められた作図方法により、正確、明瞭、丁寧に描かなければならない。また必要に応じ、平面図、立面図のみならず、断面図や詳細図をもって示さなければならない。

なお、給水装置の設計図は、完工後水道施設情報管理システムに入力するため、新設管と既設管が判別できるよう（線の太さ）に作図すること。

2. 平面図・立面図の書き方

1. 図は普通インキ等により記入すること。
2. 設計平面図には給水装置のほかに建物の間取りの配置および大きさ、道路の幅、舗装種別、歩車道の区別、公有地、私有地の境界線、配水管の口径、管種等を一定の正しい縮尺により記入すること。
3. 設計図に使用する標示（別紙給水装置標示一覧表）は、つぎのとおりとする。標示にない道路、河川、樹木、その他は適宜判り易いよう記入すること。
4. 設計図には工事場所位置図及び配管図番号を記入する事。
5. 略図には、主なる道路、建物等を基準として、目標物を明示し、方位を記入する。
6. 配水管等よりの分岐位置は、附近の消火栓、仕切弁又は宅地境界より正確に距離を記入すること。
7. 方位は、北が図面の上方になるように表すものとする。
8. 図面、文字、数字等は正確丁寧に記入すること。
9. 立面図は概ね45度の傾斜で縮尺は現実の寸法に関係なく判別しやすいように表し、各箇所使用する給水用具の種類を明示すること。
10. 配水管、給水管は、管種、口径を明示すること。
11. 水栓類は種類を一定の記号により明示すること。
12. 井水使用（併用）の場合は、黒で平面図に記入すること。

2. 1 寸法, 単位

1. 平面図の寸法明示は、幹線の最後まで口径、管種、寸法を正確に記入すること。
2. 立面図については、口径、管種及びその他、給水用具の型式を記入すること。
3. 口径はミリメートル（mm）鋼管等は（A）、延長はメートル（m）を以って表示すること。
また、取り出し口径については、使用材料及び口径を記入する。

2. 2 線と文字

1. 平面図、断面図及び附近略図は黒で書く。
2. 既設配水管及び、既設給水装置等は黒色の実線で記入する。
3. 新設する給水装置は赤色の太実線で記入する。
4. 撤去する給水装置は赤色の破線で記入する。
5. 給湯は紫（青）色等で記入する。
6. 受水槽以下の配管は黒色一点破線で記入する。
7. 減圧弁以降の水道管は、黒色破線で記入する。
8. ボイラー等その他給水用具は黒書とする。

2. 3 作図用紙

1. 給水装置全ての工事は、定められた設計用紙を使用し作図する。
(厚口以上・0.1mm以上、80g/m²以上・四六判換算で68.8g以上)
2. 設計用紙内に作図できないときは、和紙または上記の規格品を使用する。また、この場合は、設計用紙の裏に定められた規格の袋及び同等品を糊づけし、このなかに収納する。

3. 材料明記について

設計図には次のことを必ず記入すること。

1. 分水箇所の使用材料を明記する。
2. その他特殊なものがあるときは明記する。

4. 集合住宅（アパート）の設計図作成

1. 新築アパート

1棟毎に1枚の設計書とする。

給水設計作成要領に従い、平面図については、棟の該当する全世帯の間取りを一括記入し、給水装置の全ての配水管分岐から水栓まで明確に記入すること。

立面図は、配水管分岐から1階の1世帯分、2階の1世帯分をそれぞれ記入すること。なお、各世帯毎に異なる給水装置は、全ての世帯の給水装置を記入すること。

2. 既設アパート

1棟毎に1枚の設計書とする。

既設アパートの一部を改造し、給水装置を変更する場合、平面図には、アパート全体を記入し、その該当する世帯の詳細図を記入し、その他の世帯については、関係する水栓番号を記入する。

立面図は、該当する世帯のみを詳細に記入すること。

4. 1 既設水道がある所にアパートを建てる場合

既設水道を本栓撤去し、アパートの給水を新設工事として扱う。

1. 旧水栓番号を廃止する。
2. 新規水栓番号で連番にて交付する。

(例) 1. 新築アパート給水装置工事

- (1) 建築場所に水道の引込みがないときでアパート（10世帯）の、給水装置工事の場合。
1棟毎に1枚の設計書とする。

10世帯分	1枚の設計書
開栓届用紙	10枚
申請手数料	10件分
水道加入金	10件分
検査手数料	10件分

- (2) 建築場所に水道の引込みがあるときでアパート（10世帯）の、給水装置工事の場合。既設水道を本栓撤去し、アパートの給水を新設として扱う。

既設水道が1世帯で、アパート10世帯の給水。

本栓撤去1世帯分	1枚の設計書
新設10世帯分	1枚の設計書
開栓届用紙	10枚
休止届用紙	1枚
申請手数料	11件分（アパート10件、撤去1件）
水道加入金	10件分から1件分を引いたもの
検査手数料	10件分（アパート10件 撤去なし）

既設水道が3世帯で、アパート10世帯の給水。

本栓撤去3世帯分	3枚の設計書
新設10世帯分	1枚の設計書
開栓届用紙	10枚
休止届用紙	3枚
申請手数料	13件分（アパート10件、撤去3件）
水道加入金	10件分から3件分を引いたもの
検査手数料	10件分（アパート10件、撤去なし）

※ この場合必ず本栓撤去と新設工事の申請を同時にすること。

2. 集合住宅の改造申請（取出し位置変更及び止水栓位置変更）の手数料について

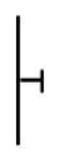
- (1) 複数の水番がある集合住宅で、改造申請（取出し位置変更及び止水栓位置変更）の場合は、1件分の手数料となる。摘要欄に「既設建物」「取出し位置・止水栓位置変更のため、手数料は1件分とする」と記載する。

5. 給水装置設計図標示記号

(平面図・立面図 共通)

名 称	標 示 記 号	名 称	標 示 記 号
各種給水栓		耐衝撃性硬質塩化ビニル管	H I V P
コンクリート水栓柱		硬質塩化ビニルライニング鋼管	V A ・ V B ・ V D
壁体埋込立上り		硬質塩化ビニル管	V P
配水管	D I P ϕ 50以上 	ポリ粉体ライニング鋼管	P B
給水本管 (共有)	給水 (共有) 本管 	架橋ポリエチレン管	X P E P
仕切弁 (制水弁)		耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼	H V
既設給水管	————— 黒	ポリエチレン二層管	P E
新設給水管	————— 赤	エルボ	
撤去給水管	- - - - - 赤	チーゾ	
乙止水栓		片落ちソケット	
量水器		丙止水栓 (ϕ 30 ~ ϕ 40)	
ダクタイル鋳鉄管	D I P	不凍バルブ (ϕ 25以下)	
石綿セメント管	A C P	各種止水弁類	
軟質ポリエチレン管	P P	逆止弁	
鉛管	L P	その他給水用具類	
銅管	C P	消火栓	
鋳鉄管	C I P	側溝横断用ケーシング	
ポリブデン管	P B P	下水 (側溝)	
ライニング鉛管	P B T W	増圧ポンプ	
塗覆装鋼管	S T W P	減圧式逆止弁	
ステンレス鋼管 SUS 316	S U S	ヘッダー	
鋼管	S P		

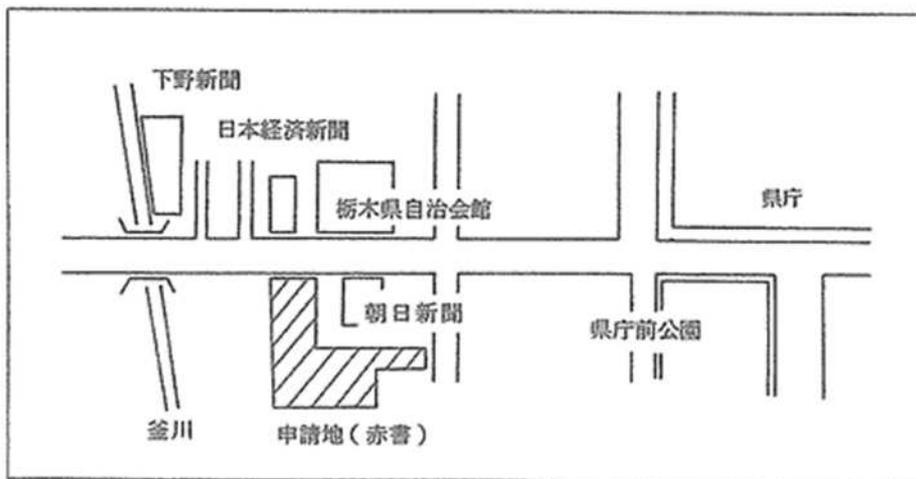
(立面図)

栓 類	自在 水 栓	胴 長 水 栓	万 能 水 栓	立 型 水 栓	散 水 栓	衛 生 水 栓	噴 水 栓	水 呑 栓	シャ ワー ヘ ッド	小 便 カ ラ ン	
標 示 記 号											
栓 類	ボ ー ル タ ッ プ	水 栓 柱	給 湯 器	分 岐 水 栓	ア ン グ ル 弁	止 水 栓 付 給 水 管	そ の 他 の 給 水 用 具 類	消 火 栓	混 合 水 栓	フ レ キ シ ブ ル 継 手	
標 示 記 号											
栓 類	不 凍 水 栓 柱	ス テ ン レ ス 鋼 管	フ ラ ッ シ ユ バ ル ブ	ス プ リ ン ク ラ ー							
標 示 記 号											

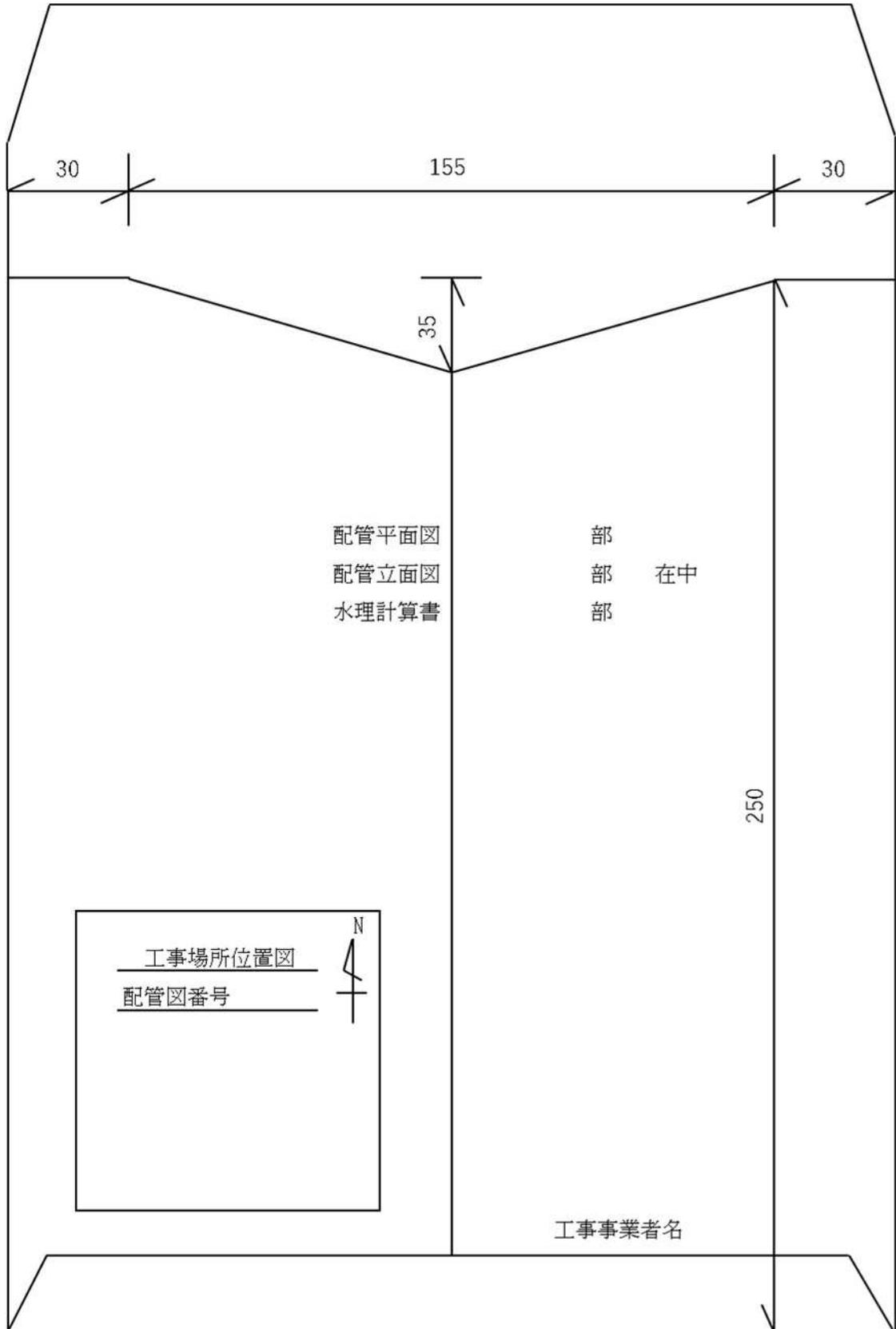
6. 工事場所位置図の書き方



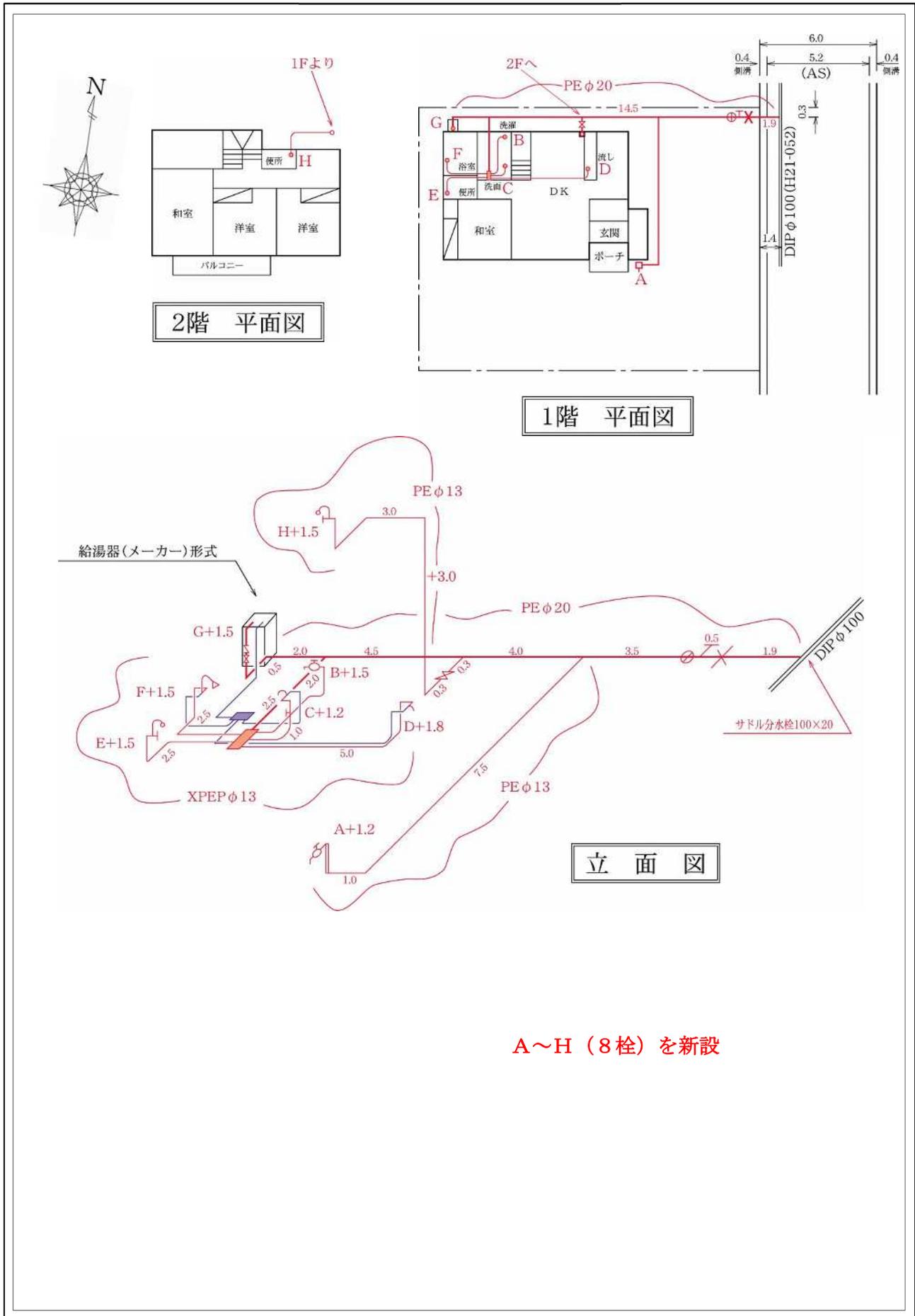
配管図番号



7. 設計書袋とじ作成



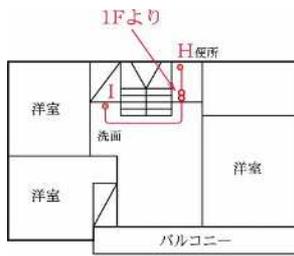
(略 図)



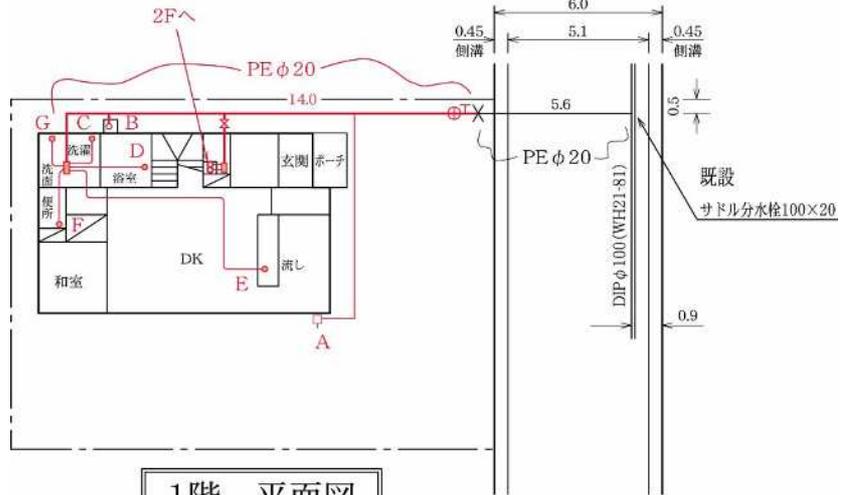
備考 実施について設計と相違が出来た場合は必ず変更図を記入すること。

A~H (8栓) を新設

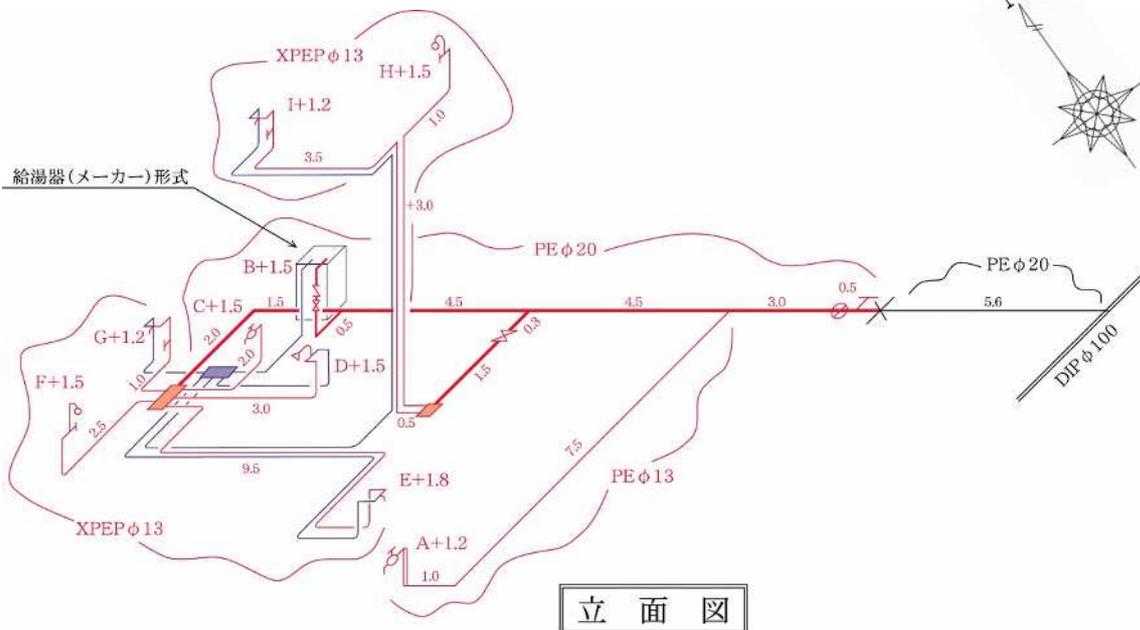
(略 図)



2階 平面図



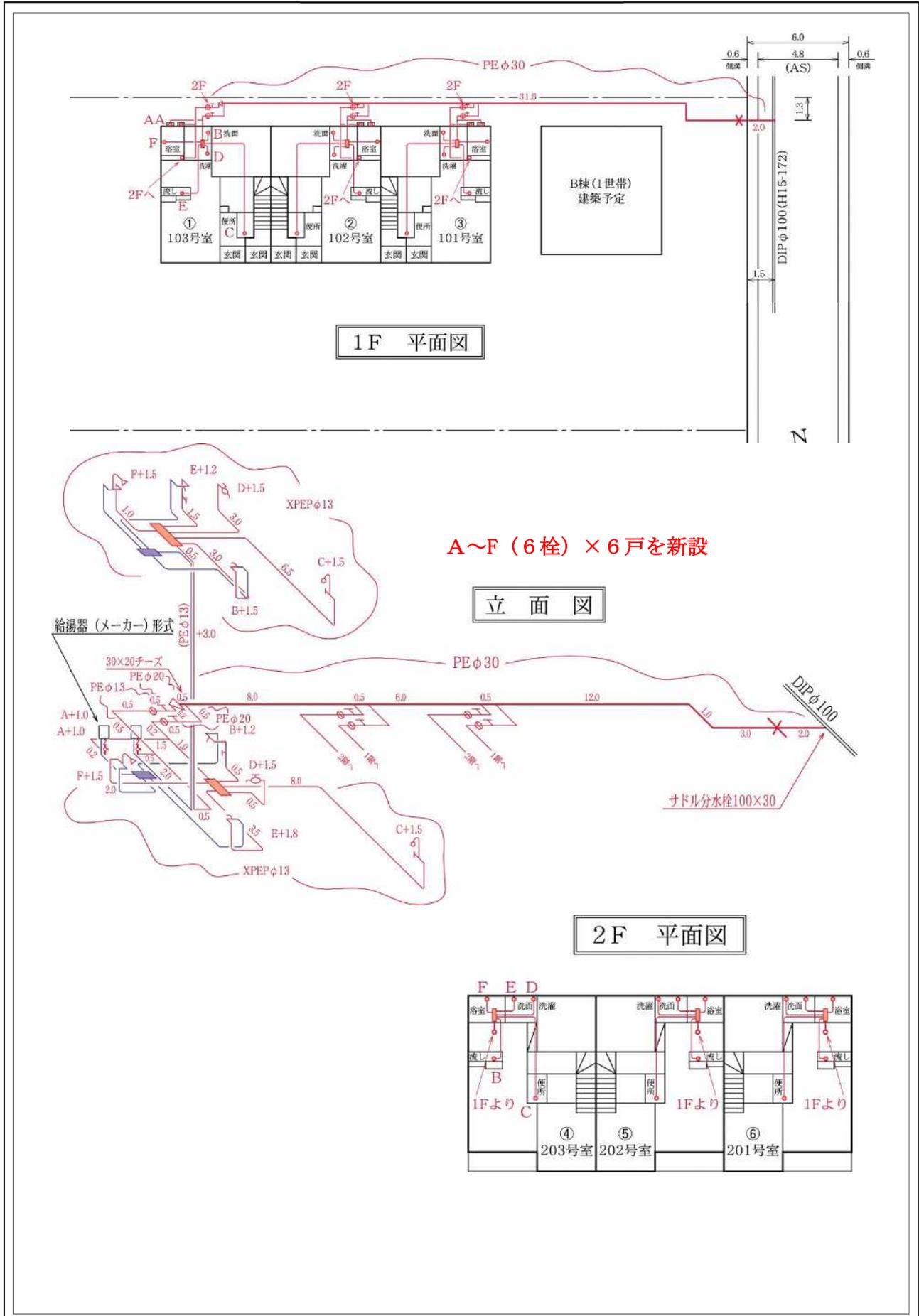
1階 平面図



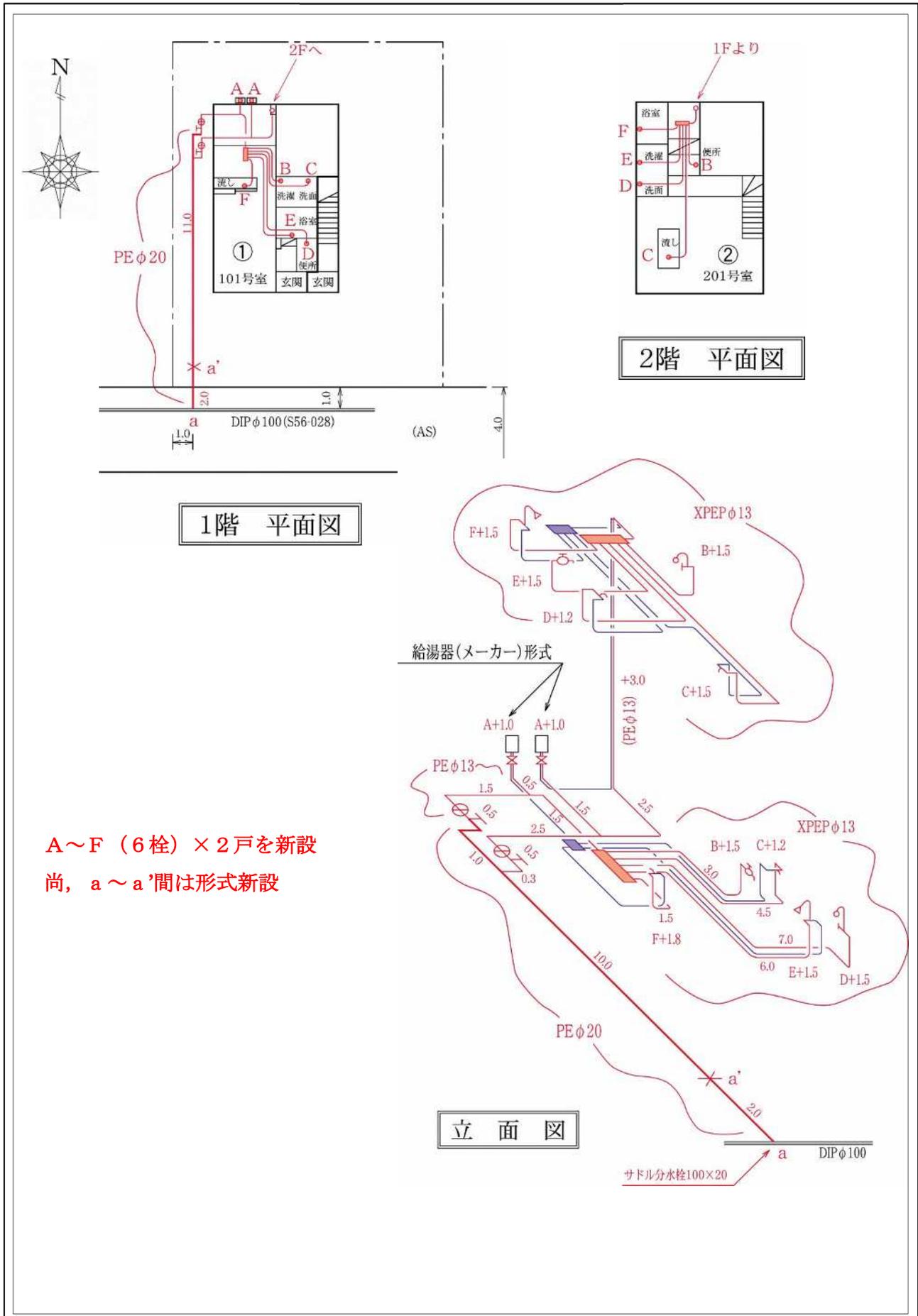
立面図

A~I (9栓) を新設

備考 実施について設計と相違が出来た場合は必ず変更図を記入すること。

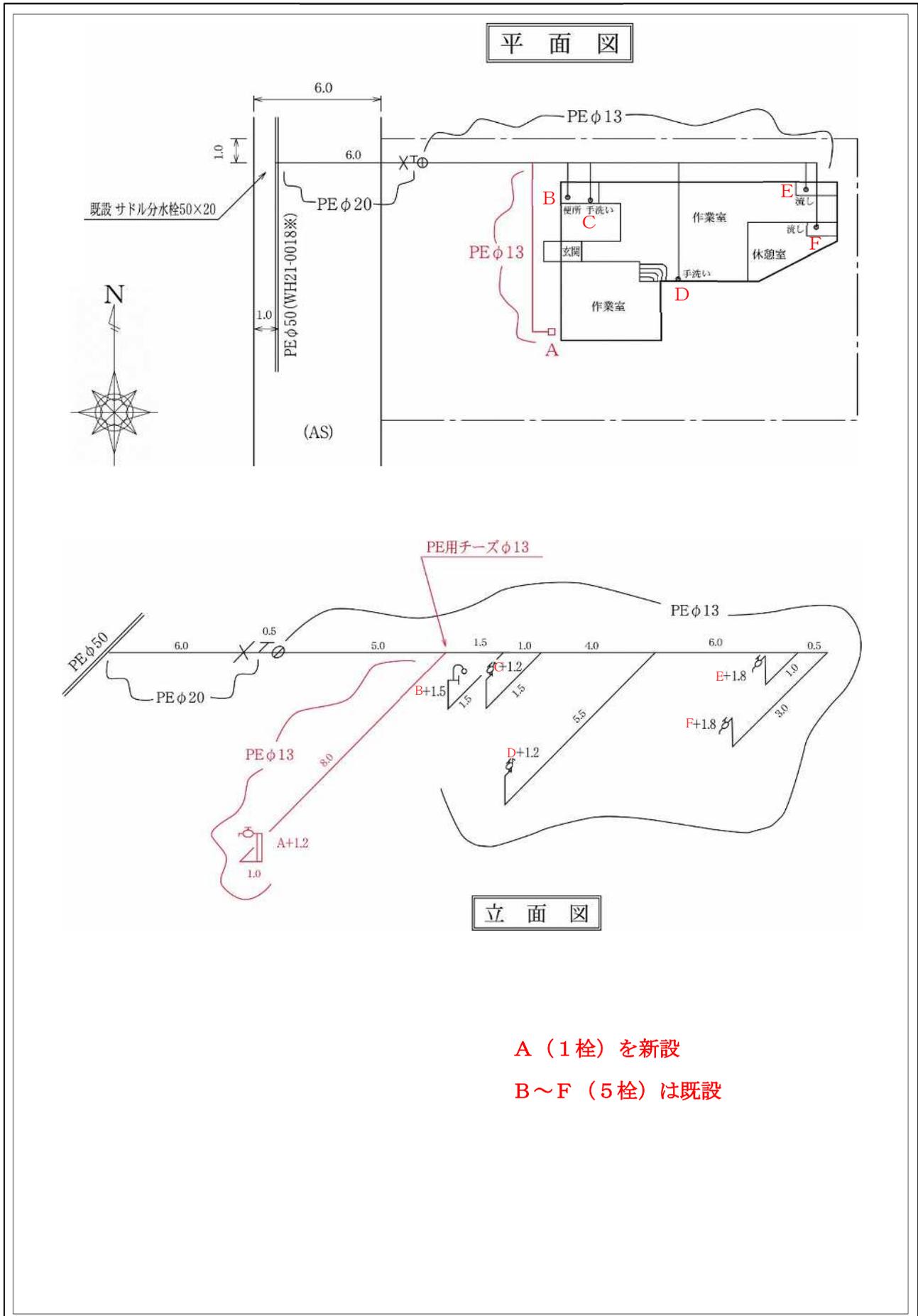


備考 実施について設計と相違が出来た場合は必ず変更図を記入すること。



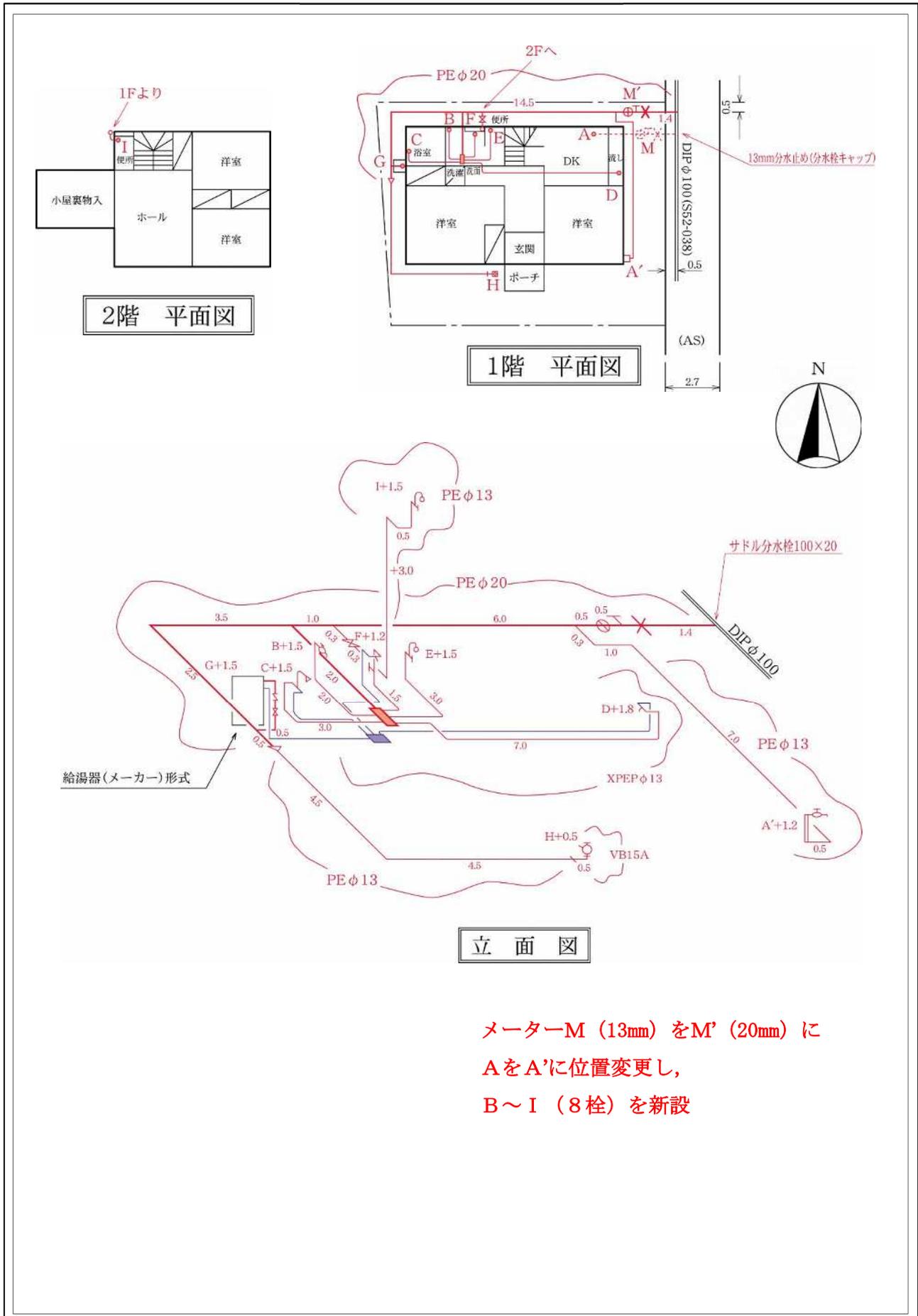
A~F (6栓) x 2戸を新設
尚, a~a'間は形式新設

備考 実施について設計と相違が出来た場合は必ず変更図を記入すること。



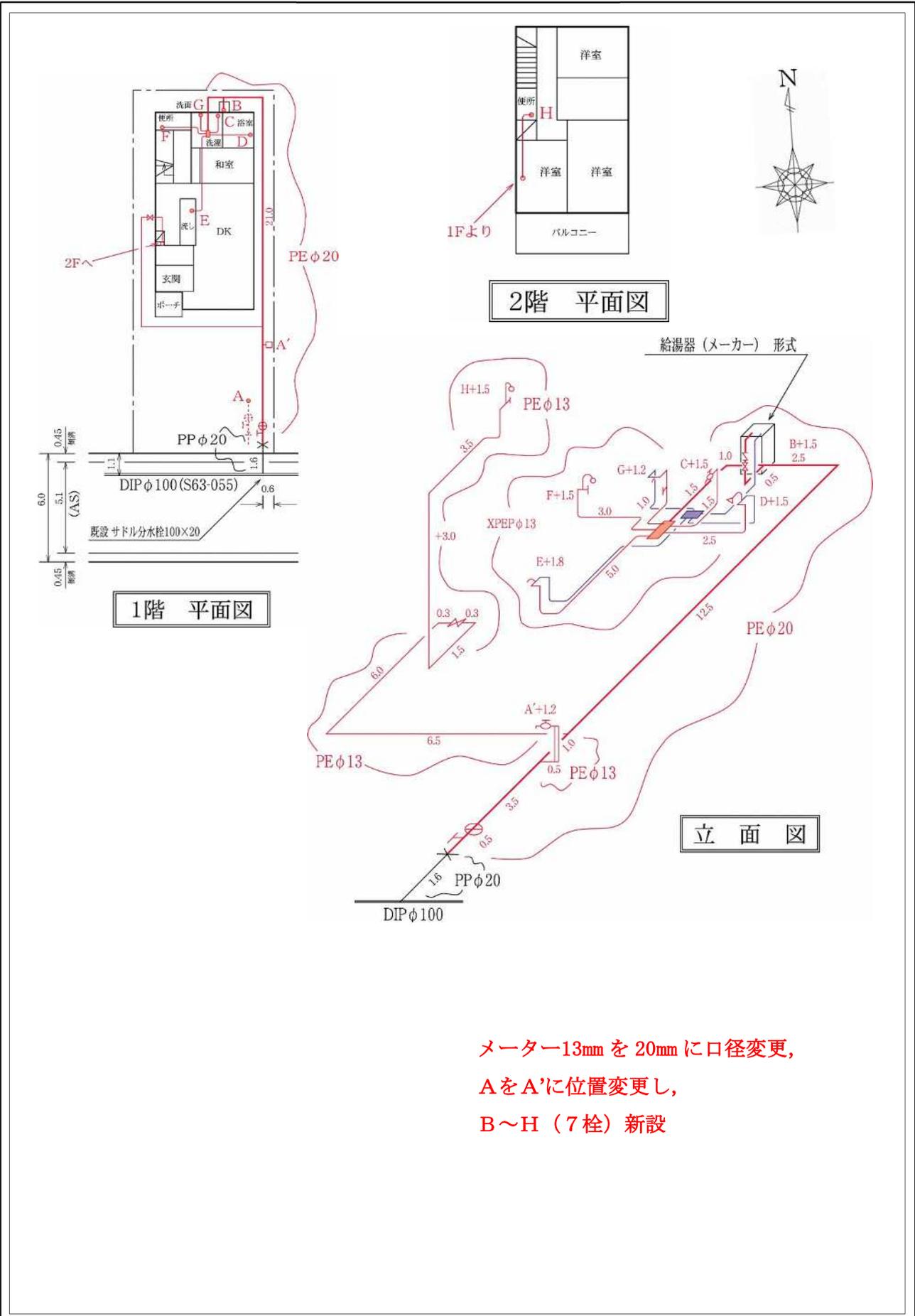
備考 実施について設計と相違が出来た場合は必ず変更図を記入すること。

(略 図)



備考 実施について設計と相違が出来た場合は必ず変更図を記入すること。

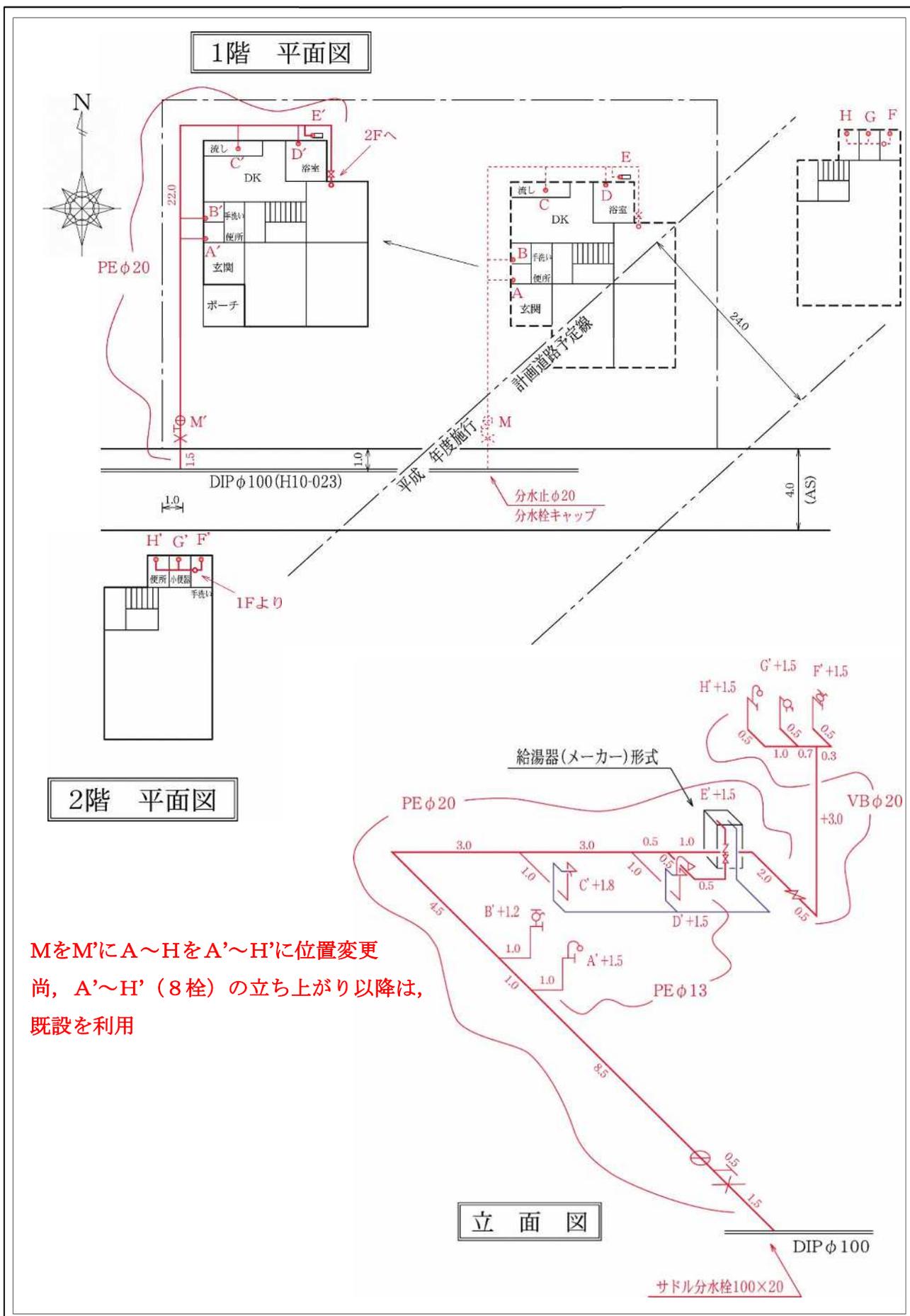
メーターM (13mm) をM' (20mm) に
AをA'に位置変更し,
B~I (8栓) を新設



備考 実施について設計と相違が出来た場合は必ず変更図を記入すること。

メーター13mmを20mmに口径変更,
AをA'に位置変更し,
B~H(7栓)新設

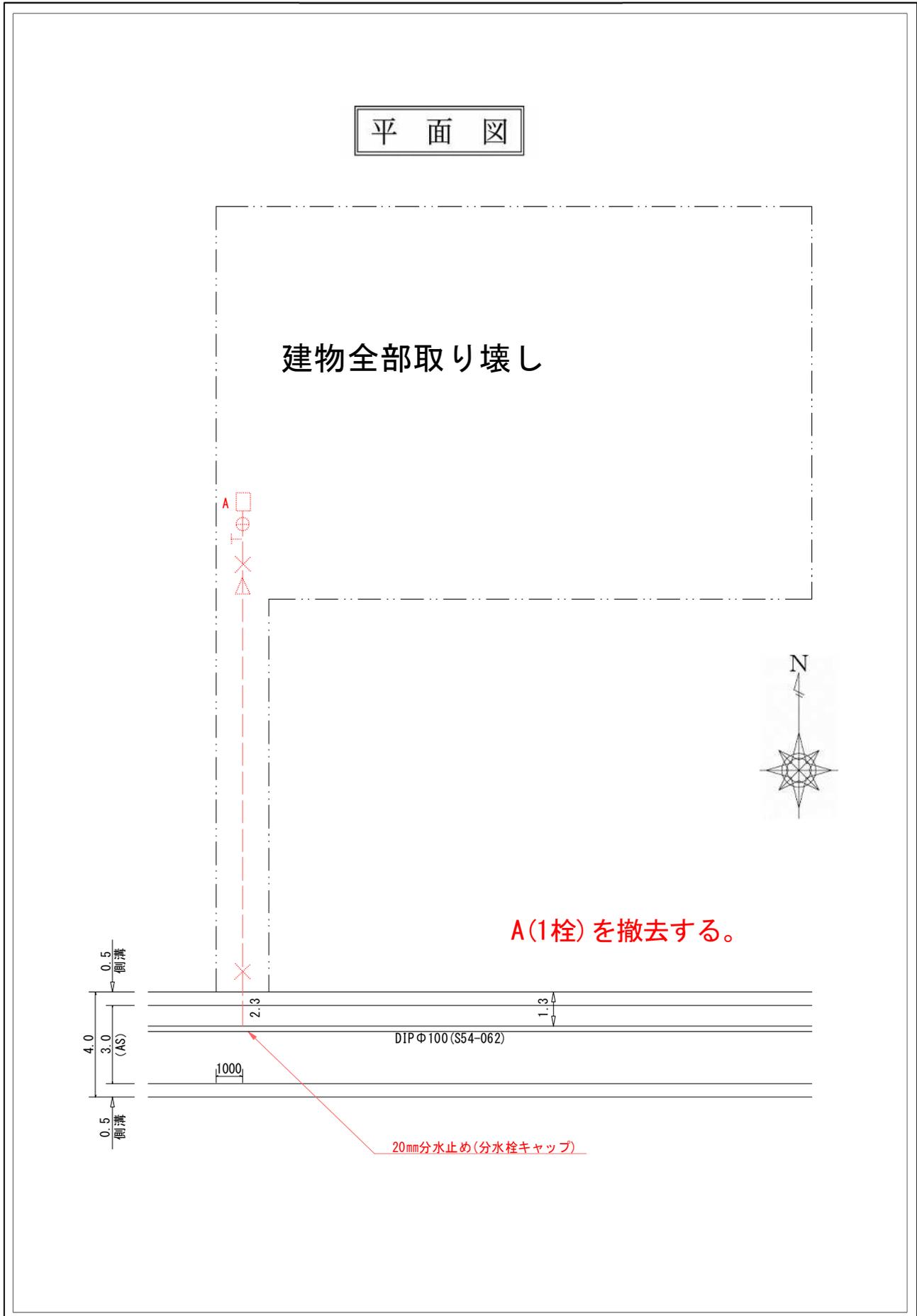
(略 図)



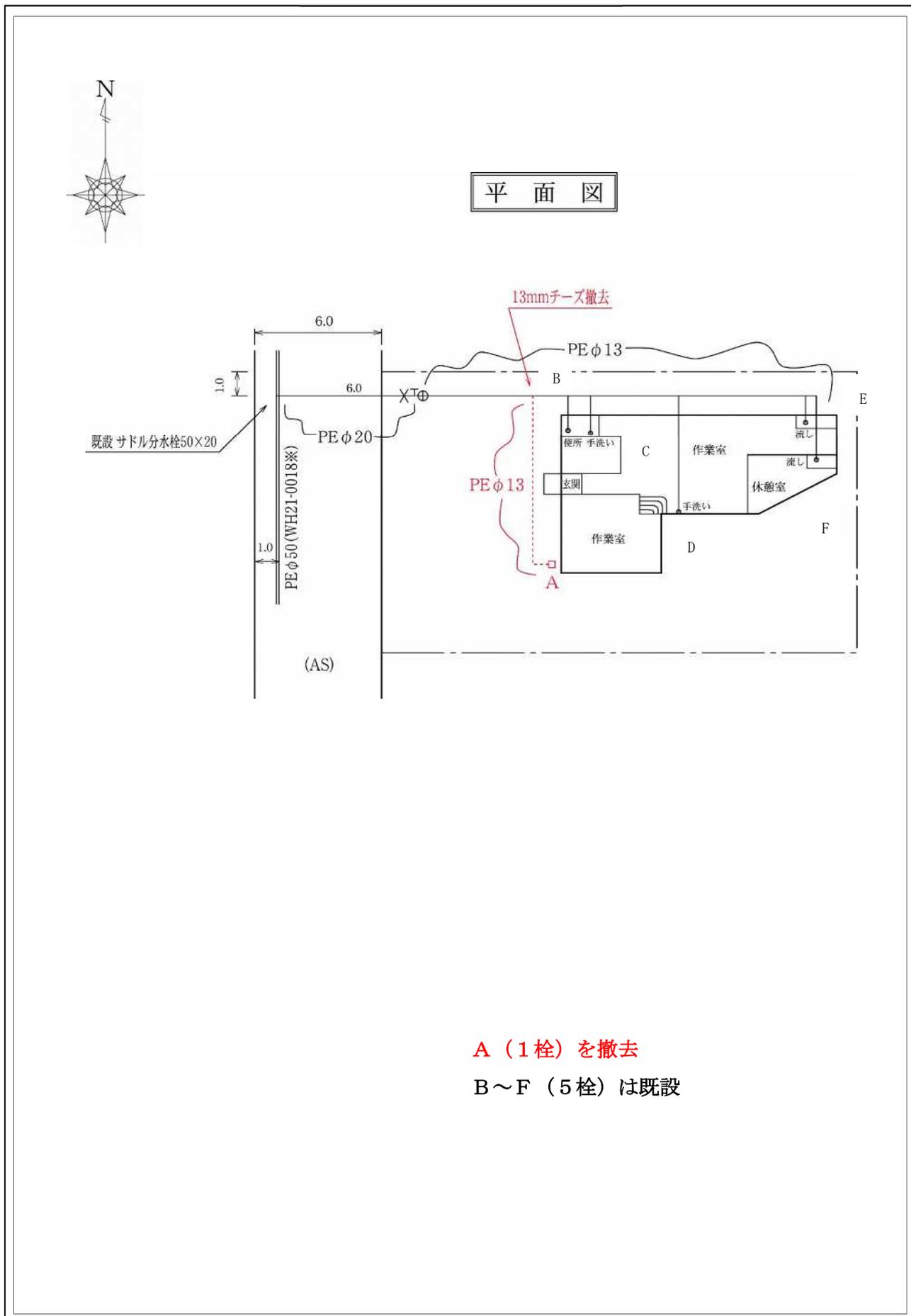
備考 実施について設計と相違が出来た場合は必ず変更図を記入すること。

MをM'にA~HをA'~H'に位置変更
尚、A'~H' (8栓) の立ち上がり以降は、
既設を利用

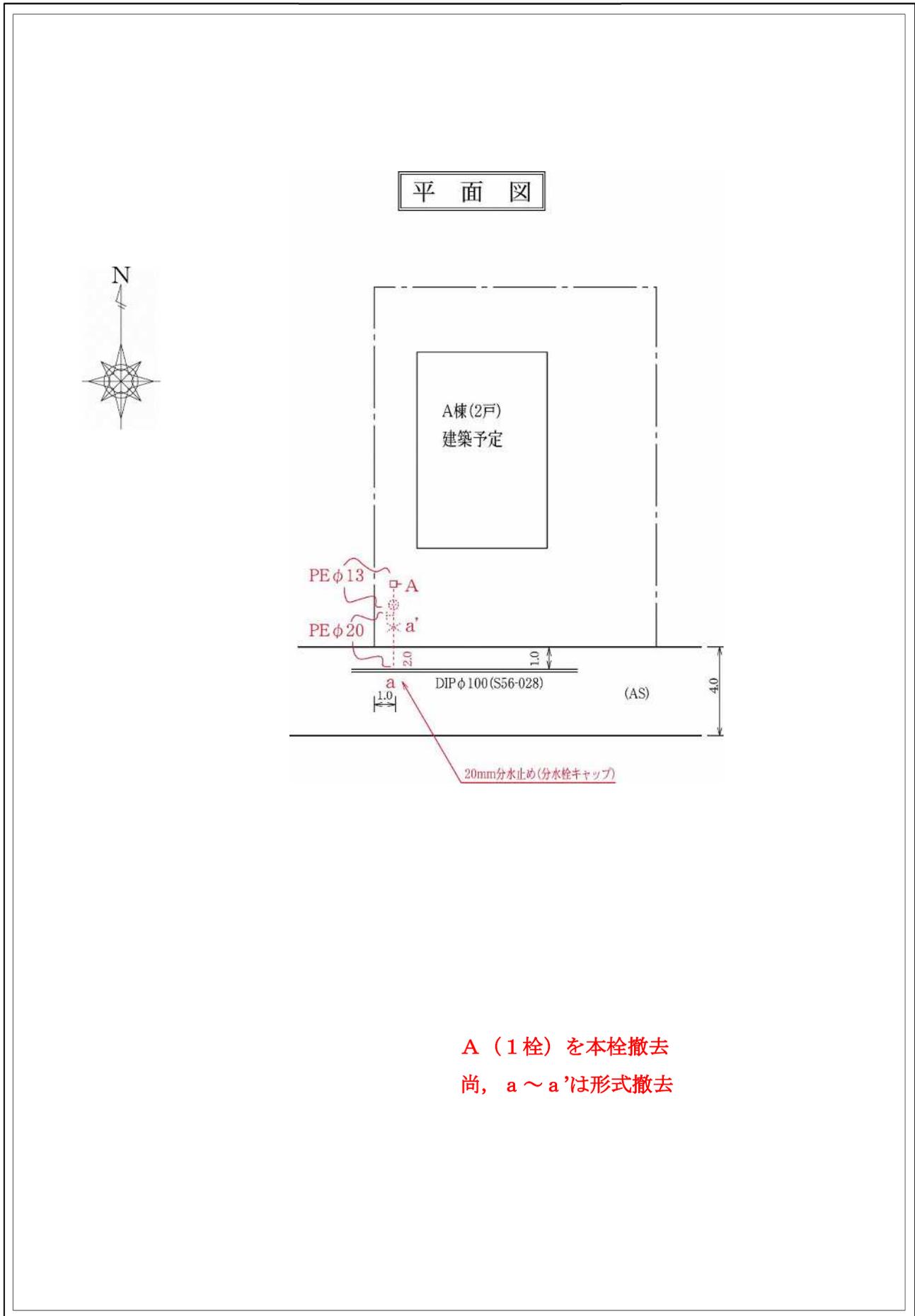
(略 図)



備考 実施について設計と相違が出来る場合は必ず変更図を記入すること。



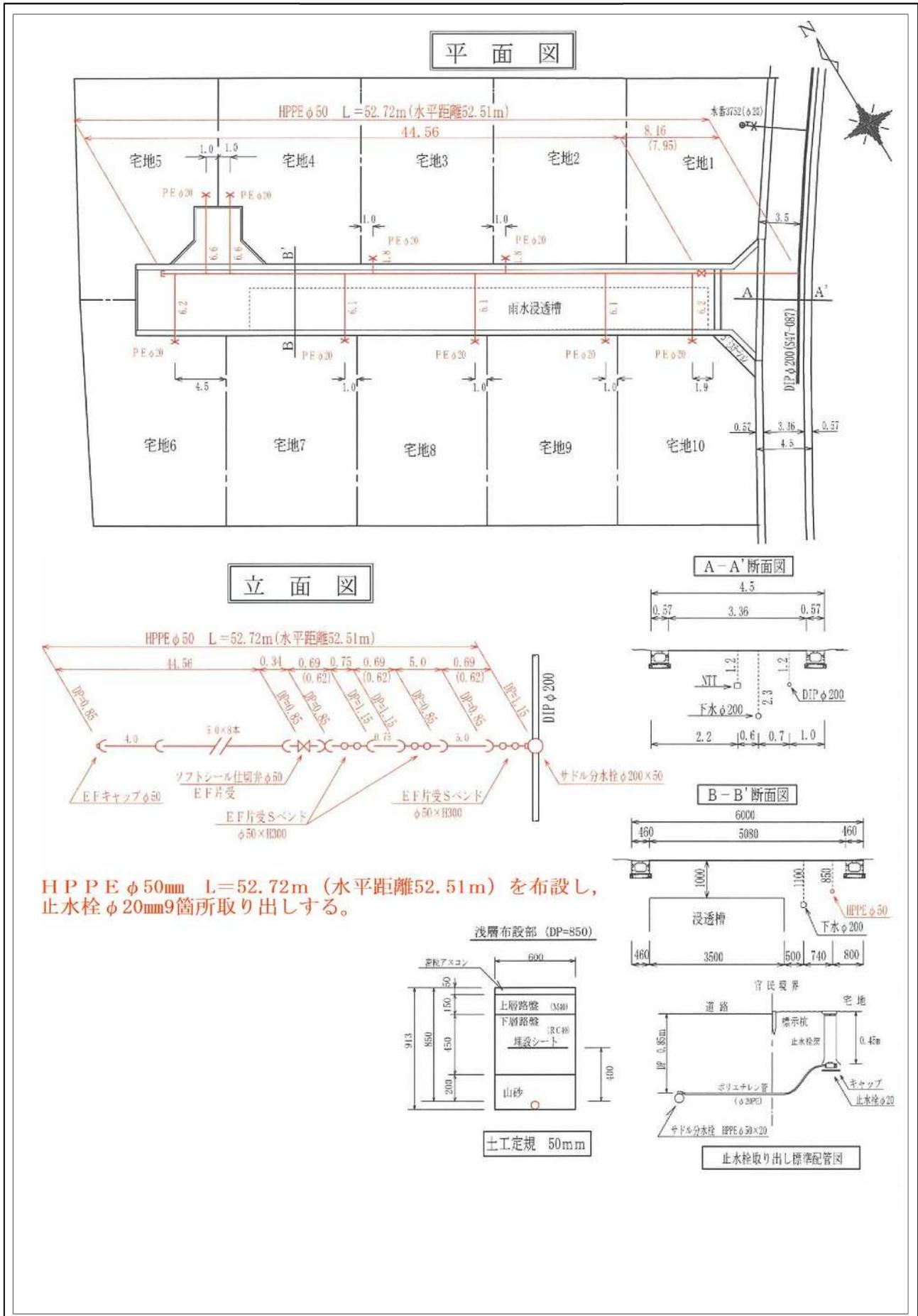
備考 実施について設計と相違が出来た場合は必ず変更図を記入すること。



備考 実施について設計と相違が出来た場合は必ず変更図を記入すること。

A（1栓）を本栓撤去
尚、a～a'は形式撤去

(略 図)

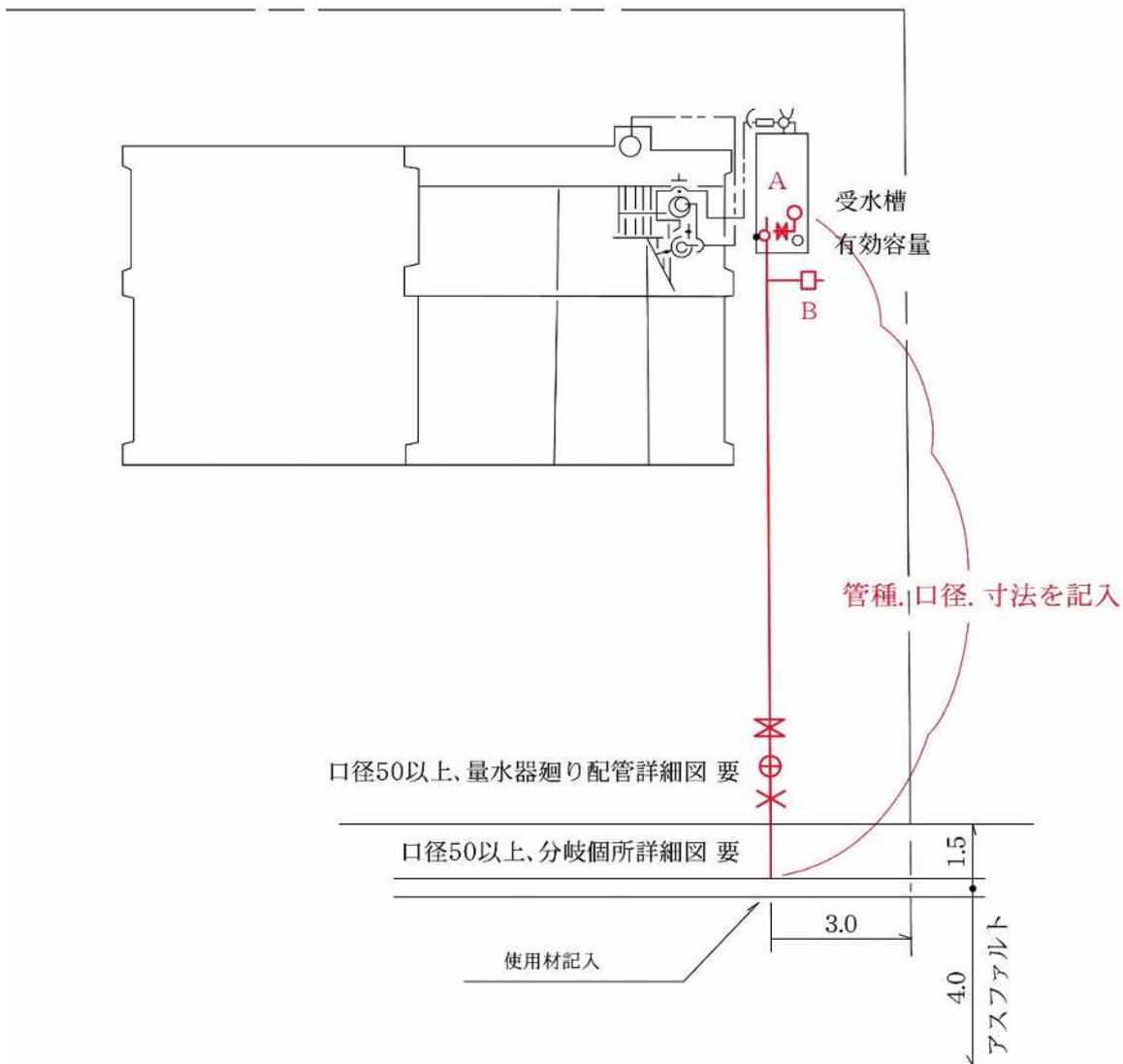


HPPE φ50mm L=52.72m (水平距離52.51m) を布設し、止水栓 φ20mm9箇所取り出しする。

備考 実施について設計と相違が出来た場合は必ず変更図を記入すること。

平面図

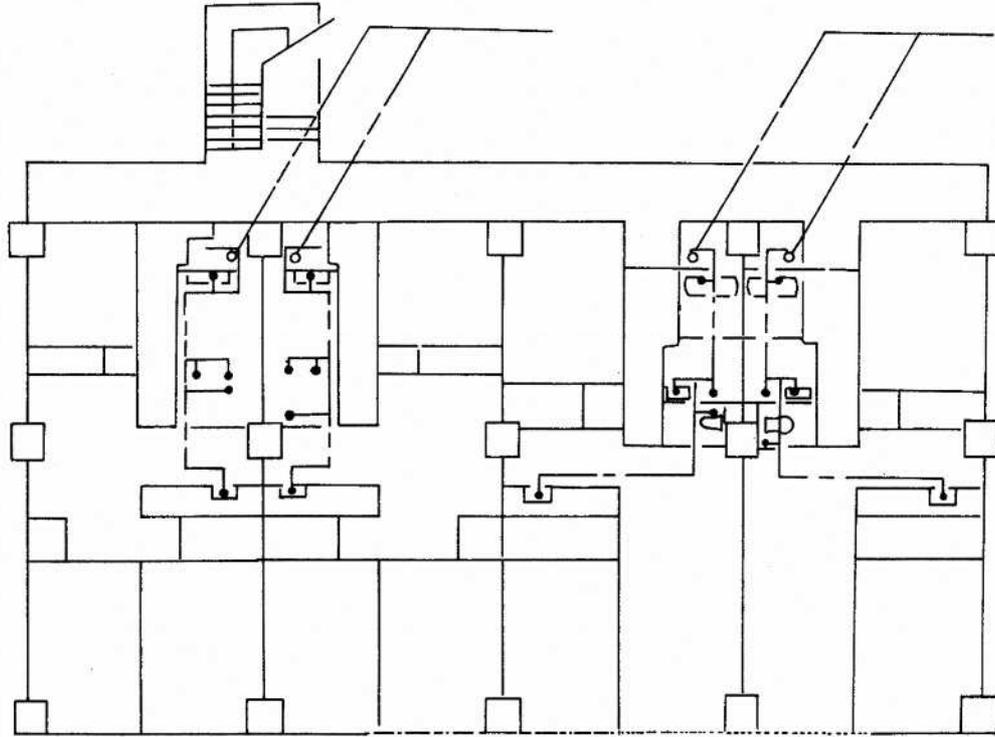
1 階 平面図



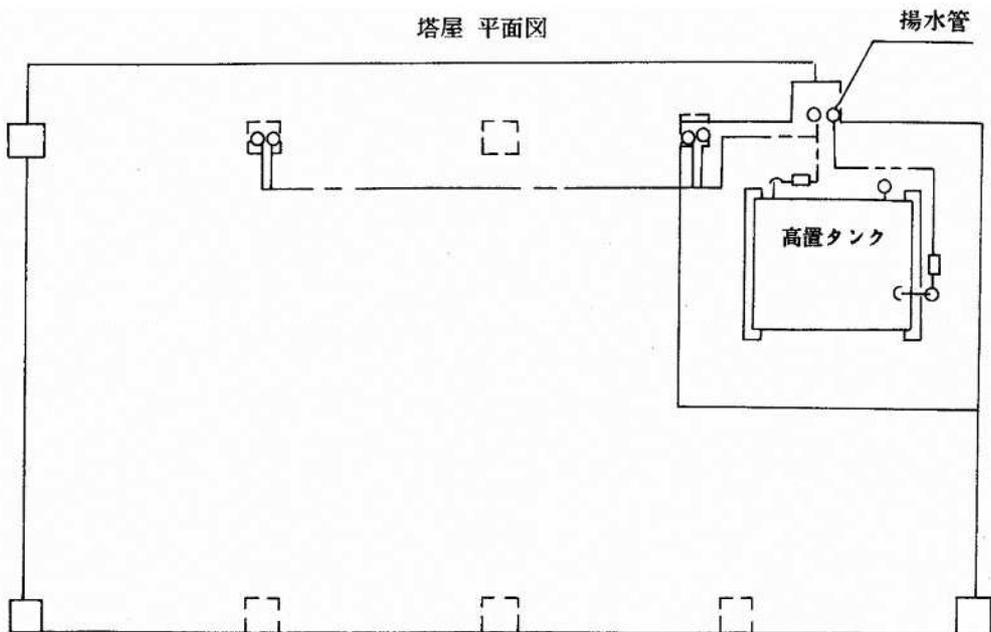
A, B (2 栓) を新設

平面図

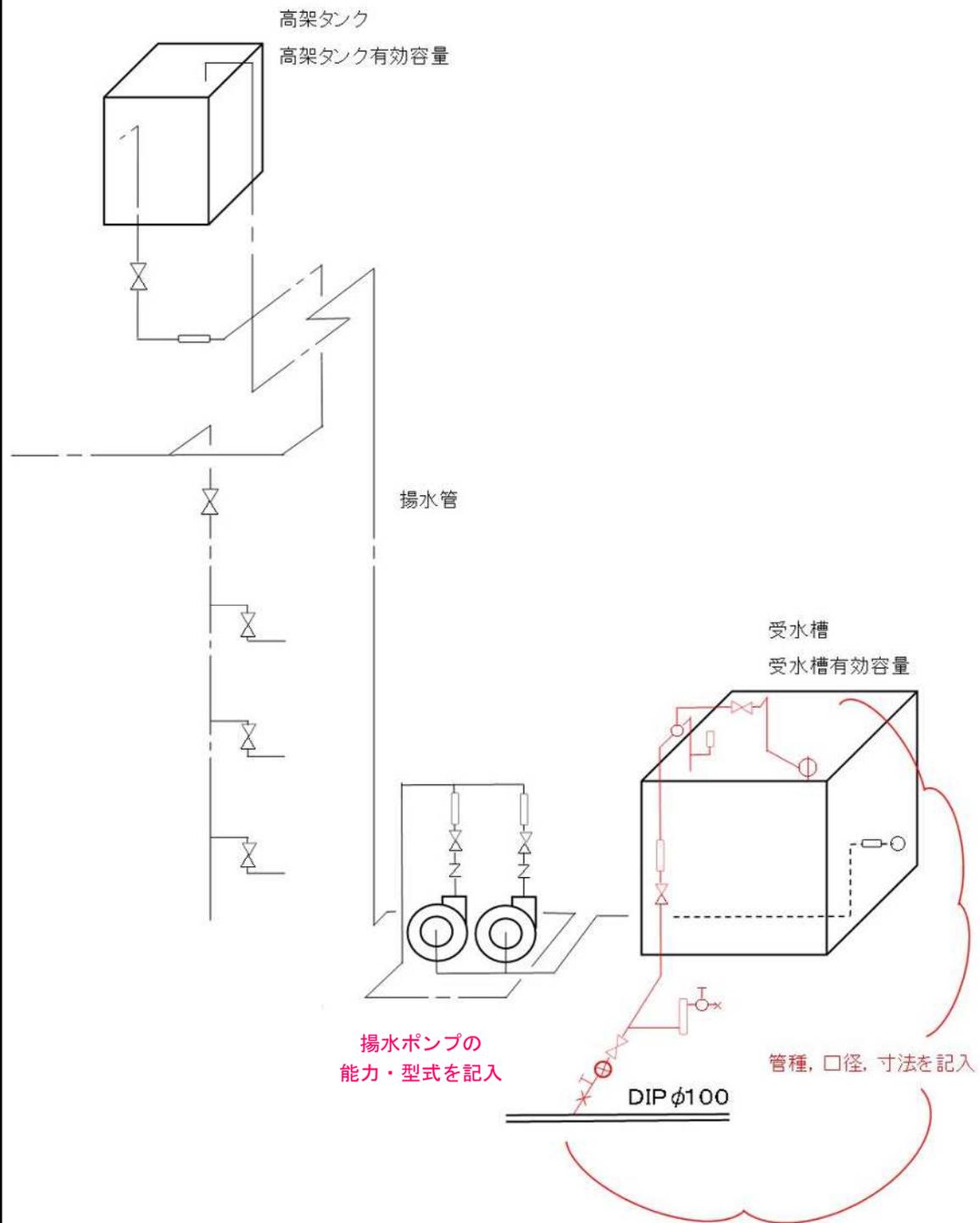
2 階 平面図



塔屋 平面図

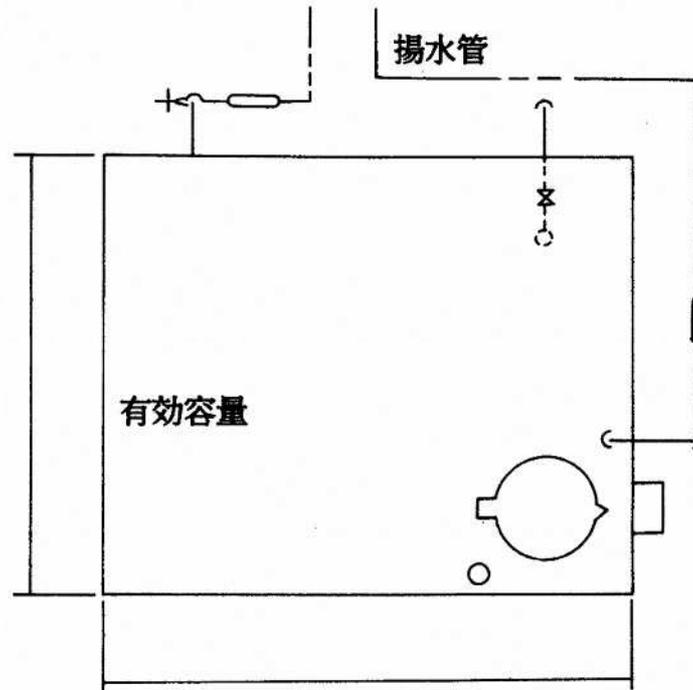


立面図



受高置タンク詳細図

平面図



断面図

